



事業シート（概要説明書）

① 事業名	ごみ収集・処理事業
② 細事業名	家庭系ごみ収集事業

担当部・課	環境共生部環境衛生課	事業開始年度	平成7年度
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条2		

基本情報

③ 事業概要 (手段・手法など)	ごみシール制の実施。家庭から排出される一般廃棄物を収集運搬する。
④ 事業目的 (何のために)	ごみシール制や分別収集を実施することにより廃棄物の減量化や資源化を推進するとともに、適正かつ迅速に収集運搬し、市民の衛生的な生活を確保する。
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	全市民（約114千人、約46,800世帯）が対象。
⑥ 事業実施方法	委託 (ただし、ふれあい収集事業を除く)
⑦ アウトソーシング等の検討余地	ごみ出し困難者への訪問収集（ふれあい収集）については、ごみ収集のみならず高齢者等の安否確認も業務の一種に含んでいるため、直営で実施している。その他の業務は全て業者委託により実施している。

⑧ コスト	平成24年度予算		直接経費（A）の内訳							
	直接経費（A）	520,986 千円	委託料：515,514千円、需用費：1,066千円、償還金、利子及び割引料：18千円、負担金、補助及び交付金：4,208千円、役務費：180千円							
	人件費（B）	8,260 千円	※A内訳の内、臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費を再掲		0 千円	左の従事職員数	0 人			
			内訳	担当正職員：概算人件費(B) (H22決算平均人件費8,260千円×従事職員数)		8,260 千円	左の従事職員数	1 人		
	総コスト (A) + (B)	529,246 千円	財源内訳（収入）							
			国・府からの補助金等	0千円	使用料・手数料	111,872千円	一般財源(市債含む)	417,374千円	その他	0千円
			補助金の割合（率）							

現状・目標・課題

<p>⑨ 事業の現状</p>	<p>各家庭から排出されるごみを適正に収集運搬及び処理することにより、生活環境を清潔に保ち公衆衛生の向上に貢献しています。・ 今年度より、ごみ出し困難者への訪問収集を開始しました。</p>				
<p>⑩ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入</p>	<p>ごみシール制や分別収集を実施することにより廃棄物の減量化や資源化を推進するとともに、適正かつ迅速に収集運搬し、市民の衛生的な生活を確保します。・ ごみ出し困難者への訪問収集を実施します。</p>				
<p>⑪</p> <p>・事業の課題</p> <p>・事業の方向性 (改善に向けて)</p> <p>・公開事業評価 において、市民 の方にお聞き したい内容</p>	<p>■事業の課題 今後さらにライフスタイルの変革が進み、いかにして多種多様なニーズ※1に添えていくかが課題です。</p> <p>■事業の方向性(改善に向けて) 画一性※2を原則に、多様性を補完する事業※3も展開していきたい。</p> <p>■公開事業評価において、市民の方にお聞きしたい内容 特になし</p> <p>【用語説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※1「多様なニーズ」とは、ごみの収集形態や内容、回数など、現行サービスに対する要望等のことを言います。 ・※2「画一性」とは、いずれの収集対象に対してもサービス内容を均一にすることを言い、ここではごみシール制や分別収集などが該当します。 ・※3「多様性を補完する事業」とは、画一的なサービス内容では支障を来たす、いわゆる施策の狭間を埋める諸事業のことを言います。なお、ここではふれあい収集事業が該当します。 				
<p>事業シート作成責任者</p>	<p>部長名</p>	<p>塩谷 聡</p>	<p>課長名</p>	<p>若林 次郎</p>	